

瀧川結芽子

作・小佐部明広

【主な登場人物】

瀧川結芽子……瀧川家の三女。

玉井まこと……結芽子の小学校時代からの親友。

藤井りょう……結芽子の小学校時代の同級生。

大田たける……結芽子の高校時代の先輩。

瀧川比呂美……結芽子の母。

瀧川奈津子……結芽子の姉。長女。結芽子と父が違う。（結芽子の5歳年上）

瀧川真理子……結芽子の姉。次女。（結芽子の3歳年上）

やすし……真理子の夫。

ゆき……結芽子の子供。長女。（りんの8歳年上）

あみ……結芽子の子供。次女。（りんの2歳年上）

りん……結芽子の子供。三女。

コユメ……結芽子の孫。あみの子供。

ヘラ子……結芽子に見える霊的な存在。嫉妬深い。

ナル吉……結芽子に見える霊的な存在。うぬぼれ。

ケン太郎……結芽子に見える霊的な存在。好色。

【配役例】

瀧川結芽子／コユメ

玉井まこと／女1

瀧川奈津子／ゆき／女2

瀧川真理子／あみ／女3

瀧川比呂美／りん／女4

ヘラ子／たける／男1

ナル吉／りょう／男2

ケン太郎／やすし／男3

【シーン1】

パイプオルガンの音楽と、教会の鐘の音が聞こえてくる。

教会。

男1（神父）と比呂美、男3（比呂美の夫）がいる。
それを見ている人々。

神父 あなたたちは、

一生愛し合うことを誓いますか。

比呂美 誓います。

夫 誓います。

人々拍手。神父を残して去っていく。

神父 こうして一生の愛を誓いあつた瀧川比呂美様

とその旦那様は、

9ヶ月で離婚なさいました。

夫の不倫が原因でした。

比呂美様は元夫との子ども・奈津子様を連れ、

新しい男性を探しました。

別の男性と共に再びこの教会を訪れたのは、

その半年後のことでございます。

比呂美様は二人目の子供・真理子様を出産なさいました。

比呂美様は真理子様ばかりをかわいがり、

奈津子様は次第に目つきが悪くなっていきました。

舞台上では、母・比呂美にかわいがられる真理子を、嫉妬の表情で奈津子が睨んでいる。

奈津子は真理子を殴る。

比呂美 どうしてそういうことするの！

奈津子、泣きそうにするが、

比呂美はそんな奈津子を構わず真理子を心配している。

神父 真理子様が生まれて3年後、

比呂美様は3人目の子供を出産しました。

比呂美（赤ん坊を抱えて）まくカワイイカワイイ。

あんた本当にカワイイわ。

神父 女性はその子供に、こんな名前をお付になりました。

全員去る。

りょうが走ってくる。

りょう ヤバイヤバイ、このままだと遅刻だ。

走ってきた結芽子とぶつかる。

りょう 行って、ちゃんと前見て歩けよ！

結芽子 あんたこそ前見て歩きなさいよ！

結芽子は去る。

りょう つて、いけね、このままだと遅刻だ。

りょうも走り去る。

チャイムの音が聞こえてくる。

そこは学校。

男3 (先生) と生徒たち (女1・女2・女3・女4・男1) がいる。

りょう セーフ！

先生 こらーりょう、ちゃんと5分前には来なさい。

今度遅刻したらぶち殺すからな！

さあ、今日はみんなに転校生を紹介するぞ。

ざわつく生徒。

先生 (手を叩いて) はいはい、死にたくなかったら
静かにする。

それじゃあ瀧川さん、入ってきなさい。

結芽子が、ガラガラガラッと入ってくる。

りょう げ、あいつ……！！

結芽子 はじめまして。

これから3年間よろしくお願いします。

将来の夢は人気アイドルになっていいところで女優デビ
ューしてカッコイイ俳優と結婚することです。

先生 うんそうか、名前は。

結芽子 はい、「いつまでもユメを見続けられるような子供になる

ように」っていう意味の名前をつけられました。

私の名前は、

徐々に結芽子に光。

結芽子 瀧川結芽子です！

オープニング。音楽。

【シーン2】

帰り道。学校帰りの児童(男1・男3)とりょう。

男1 なあなあ、

男3 なによ？

男1 あの転校生どう思う？

男3 タキガワユメコ？

男1 なんかいよいよな。

男3 だよな。

男1 3日でクラスの人気者になったからな。

男3 だよな。

男1 りょうはどう思う？

りょう 別に。

男1 俺知ってんだぜ。

男3 なによ？

男1 りょうはタキガワユメコのこと好きなんだぜ。

男3 マジかよ。

りょう すすす、好きじゃねーよあんなヤツ！

男1 授業中タキガワユメコのことばかり見てんだぜ。

男3 マジかよ。

りょう なんてわかんだよ。

男1 俺、授業中お前のことずっと見てるからだよ。

男3 マジかよ。

りょう 気持ちわりーよ。

といいながら3人は去っていく。

それと同時に結芽子とまこことが歩いてくる。

結芽子 まことちゃんはさあ、将来何になるの？

まこと えー？ お花屋さんかなあ？

結芽子 えーお花屋さんなんでお花屋さんなの毎日お花買って売
ってるだけだよそんなにお花に囲まれてたいならお花畑
で寝てればいいじゃん私だったら絶対まことちゃんから
お花買わない。

まこと ユメちゃん言いすぎだよ。

結芽子 あたしは絶対超人気アイドルになって女優デビューし
てもカッコイイ俳優さんと結婚するんだ。
でもプロポーズされても断るの。

100回プロポーズしてくれたら仕方なく結婚してあげ
んの。

まこと ユメちゃんすっかりクラスの人気者だもんね。

結芽子 あつたりまえじゃん、

みんなしよばいから張り合いなくてつまんない。

まこと ユメちゃんって好きな人いる？

結芽子 好きな人？ うーん、自分。

まこと ……あ、すごいなーユメちゃんは。

自分かあー。男子は？

結芽子 全然。ガキばつかだもん。

まこと そつかそつか。

でもりょうくんはユメちゃんのこと好きみたいだよ。

結芽子 ふーん。

まこと びつくりしないんだね。

結芽子 どうせ男子はみんなあたしのこと好きなんですよ？

まこと あは、さすがユメちゃんだなー。

ユメちゃんってなんか好きなものとかある？ ゲームとか。

結芽子 ギリシヤ神話。

まこと え？

結芽子 まことちゃん小学4年生なのにギリシヤ神話も知らないの遅れてるよほんと、ギリシヤ神話ってのは古代ギリシヤから伝わる神さまのお話なんだよ。

まこと へ、へえー……。

ヘラ子、ケン太郎、ナル吉がやってくる。

ヘラ子はおぼさん、ケン太郎は頭だけ馬、ナル吉は青年。

まことはいなくなっている。

三人 結芽子ちゃん！

三人は結芽子に駆け寄ってくる。

ヘラ子 おかえり結芽子ちゃん。

ナル吉 おかえり。

ケン太郎 おかえり。

ヘラ子 今日も相変わらずカワイイわあー。

ケン太郎 なんだあ。

ナル吉 なんとたつて世界で一番カワイイからねえ。

ヘラ子 ちよつとナル吉。あたしは？

ナル吉 ヘラ子さんも美しいですよ。

ヘラ子 知ってるわよそんなの。

ナル吉 ま、一番美しいのはボクですけどね。

ケン太郎 黙れいナルシストー。

ナル吉 わあー。

ケン太郎は、投げるようにナル吉を去らせる。

結芽子寝っ転がる。

ヘラ子 なになになんだか覇気がないんじゃない結芽子ちゃん？

結芽子 別に。

ケン太郎 オラにはお見通しだ、結芽子ちゃん。

ヘラ子 なによケン太郎。

結芽子 うるさいなあ。

ケン太郎 ええかい結芽子ちゃん？

この世界はな、結芽子ちゃんのためにあるです。

だから結芽子ちゃんはこの世界で欲しい

ものをなんでも手に入れていいです。

恐れることはねえ。

この世界は、結芽子ちゃんを中心に回っているですか

らねえ。

結芽子、立ち上がる。

結芽子 知ってる。

ヘラ子がりようを抱えて連れてくる。

りようは手紙を持っている。

りよう なに、「体育館の裏に來い」って。なんか用？

結芽子 りようくんはさあ、将来何になるの？

りよう 決まってるよ。

結芽子 えーダメだよ決めなきゃなにそれ将来働かないってこと
ダメだよ男子は働かなきゃあたし絶対そんな人と結婚し
たくないわー。

りよう あっそう。

結芽子 りようくんは好きなコいるの？

りよう 別に。

結芽子 私のこと好きでしょ？

りよう え？

結芽子 知ってるよ、りようくん私のこと好きだって。

りよう 好きじゃないよ。

結芽子 チューしてやろっか？

りよう やだよ。

結芽子 いいよ、特別。

結芽子、りようにキスしようとする。

りよう やめろよ！

結芽子、りように突き放される。

りよう 俺、お前のこと嫌いだから。

嫌い。だいつ嫌い。

りようは去っていく。

結芽子は少し茫然とするが、

結芽子 ……はあ？

何勘違いしてんの？ バカじゃない？

そこにバスケットボールが飛んでくる。

女3の声 すみませーん、ボールとつてくださいあい。

結芽子、バスケットボールを手に取る。

ブワツと世界が変わっていく音。

音楽と歓声が聞こえてくる。

バスケット風の男1・男3・女2・女3・女4。

結芽子はドリブルしている。

女2 あーっと、結芽子ちゃんにボールが渡った。

早い早い！

バスケット経験者をどんどん追い抜いていく！

女3 中学校からバスケットを始めた結芽子ちゃんが、

経験者たちをこぼす抜きだ！

女4 そして……、とうとうキャプテンを追い越した！

新しいキャプテンは瀧川結芽子だあ！

結芽子、レイアップシュートを決める。

キャー、カッコイイ、と色めき立つ人々。

男1 バスケ部キャプテン、成績オール5のユメコちゃん、

女子からも男子からもモテモテだあ！

男3 果たして同じ中学校に進学したりようくんの反応はあ！？

結芽子を二瞥して行ってしまいうりよう。

男1 ああ！

振り向いてくれない！

瀧川結芽子、りようくんには振り向いてもらえませえん！

戦国時代の陣所のような陣形。

女2 どうなさいますか結芽子様？

あつという間に中学の3年間は過ぎ去り卒業式が終わり、りよう殿は別の高校に行ってしまう。

今日りよう殿にあなた様の思いを告げなければ、手遅れになつてしまいます。

男1 ええい黙れ黙れ！

そもそも結芽子様はりよう殿のことなど歯牙にもかけておらぬのだ。

男3 結芽子様の心を乱しおつて！

打ち首じゃあ！

女3 ずしやあ！

女2 結芽子様バンザーイ！

と言って女2は死ぬ。

結芽子 (手を叩いて) はいお疲れ様！

一同 お疲れ様です！

結芽子 特訓するよ、集まつて！

一同 はいっ！

結芽子 よーい、はいっ！

男1は去っている。

部員たち (男2・男3・女2・女3・女4) は、膝を曲げ低姿勢でステップを踏みながら、リズムカルにセリフを言っている。

夏。演劇部の稽古。

それを見ている結芽子とまこと。

部員たち 「おおおおオロミオ、おおオロミオ、

どうしてあなたはロミオなの？」

結芽子 もつと腰さげて！

部員たち 「おおおおオロミオ、おおオロミオ、

どうしてあなたはロミオなの？」

結芽子 もっと大きな声で！

部員たち 「おおおオロミオ、おおロミオ、
どうしてあなたはロミオなの？」

男2 うわぁ！

男2、足を痛めて脱落、退場。

結芽子 足りない！

女2 「高校生になった結芽子は将来女優デビュー
するのに備えて演劇部に入った！」

男3 うわぁ！

男3、足を痛めて脱落、退場。

女3 「結芽子は部長！」

女4 「無理やり連れてこられた親友のまことが副部長！」

結芽子 はいあと100回！

まこと ユメちゃん、やり過ぎ……。

部員たち 「おおおオロミオ、おおロミオ、
どうしてあなたはロミオなの？」

結芽子 もっと本気出して！

部員たち 「結芽子には大好きな先輩がいた！」

たける先輩が現れる。

たける 結芽子ちゃん、お疲れ。キラッ。(輝かしい笑顔)

結芽子 あ、たける先輩、お疲れ様ですっ！
一同 お疲れ様です！

たけるは去る。

女3 「でも、将来アイドルになったときの恋愛禁止に備えて告白
はしなかった！」

部員たち 「おおおオロミオ、おおロミオ、
どうしてあなたはロミオなの？」

結芽子 はい終了！

部員たち、痛みに叫びながら解散。

まこと (タオルを渡して) お疲れ、ユメちゃん。

結芽子 うん、お疲れ。

まこと 最近元気ないんじゃない。

まこと え、そう？

結芽子 たまにぼーっとしてるよ。

まこと そうかなあ。

結芽子 恋でしょ？

まこと え、な、な、なんで？

結芽子 何年の付き合いだと思ってるの？

まことは恥ずかしくて顔が真っ赤。

結芽子 誰？

まこと ええ？

結芽子 たける先輩はダメだよ。

あたしのもんなんだから。

まこと たける先輩じゃないよ。

結芽子 告白しないの？

まこと できないよ。

結芽子 付き合いたいんですよ。

まこと わかんない。

結芽子 はあ？

まこと 言って嫌われるのが怖い。

結芽子 そんなことあるわけないじゃん。

まこと ユメちゃんはね。

結芽子 まことだつてそうだよ。

まこと ユメちゃん、

ユメちゃんとボクは違うんだよ。

ボクはユメちゃんみたいになれない。

でも、だからボクは……、

結芽子 ……なに？

まこと ううん、ありがとう、相談乗ってくれて。

もし勇気が出たら、言ってみるよ。

結芽子 (まことのおっぱいを掴んで) やっぱダメ。

まこと ……。

結芽子 まことのおっぱいはあたしのもんだから、

他のヤツに触らせんのは許さない。

死ぬまで触らせちゃダメだよあたし以外のヤツに。

だって、まことはあたしの親友だもんね？

まこと ああ、うん……、

結芽子 それで、あたしが死ぬときはあたしの隣にいて、

あたしが死ぬまでおっぱいを揉ませるんだよ。

親友なんだから。

まこと ええ……？

へラ子が現れる。

へラ子 開廷します！

ナル吉、ケン太郎が現れる。

裁判のような陣形になる。

結芽子が検察、まことが被告人、ケン太郎に肩車されたへラ子が裁判長

ナル吉が弁護人。

へラ子 では、検察側からお願いします。

結芽子 はい。

最近そのおっぱいは調子に乗ってると思います。

そのおっぱいのおっぱいはあたしのおっぱいなのに他の男に売ろうとしています。

ナル吉 異議アリ。

へラ子 被告人のおっぱいが瀧川結芽子のおっぱいだという根拠

がありません。

確認のため被告人のおっぱいを触ってもいいですか？

へラ子 却下します。

へラ子

ナル吉

へラ子

ナル吉

へラ子

ナル吉

ナル吉 では、確認のためでなく、

単純に被告人のおっぱいを触りたいのですが、
触つてもいいでしょうか？

ヘラ子 却下します。

ナル吉 じゃあもう異議ナシ。

結芽子 検察側は、おっぱい被告人に終身おっぱい刑を求めます。

ナル吉 異議ナシ。

ヘラ子 それでは判決を言い渡します。

被告人を終身おっぱい刑に処します。

被告人は死ぬまで瀧川結芽子以外におっぱいを触らせて

はいけません。

被告人は自分の行いを反省するように。

まこと はい、すみません……。

結芽子 そして、私が死ぬときは私の隣にいて私におっぱいを揉

ませるように。

まこと はい……、

ヘラ子 以上です。閉廷、ガラガラ。

ガチャ。

という音とともに扉を開けに立っている長女・奈津子。

ヘラ子、ナル吉、ケン太郎、まことは去ってしまふ。

負のオーラを背負っている。

奈津子 あのさあ、

結芽子 あ、奈津子姉ちゃん。

奈津子 ブツブツ独り言うるさいんだけど。

集中できない。

結芽子 ごめん。

奈津子 あんた勉強できるからって調子乗ってんじゃないわよ。

勉強なんかできたって仕方ないんだからね。

いい？

最も大事なことはね、その企業に対する誠実さをアピ
ルすることなのよ。

次女・真理子もやつてくる。

真理子 ちよっとお姉ちゃん、

結芽子にケンカ売らないの。

奈津子 ケンカなんか売ってないわ真理子。

現実を教えに来たの。

真理子 結芽子はまず大学受験なんだから、

就活の話なんかしても仕方ないでしょ？

奈津子 ふん、よかったわねあんたは私よりいい大学に入れて。

学歴が高い方が有利だからね。

でもいい？ 学歴よりも重要なのはね、

その企業に対する誠実さをアピールすることなのよ。

真理子 わかったかわった参考にするから。

奈津子 あんたの欠点を教えてあげる、結芽子。

あんた字が汚いのよ。

字っていうのはその人の心が表れるの。

面接官はそういうところも見逃さないのよ。

真理子 姉ちゃん、字だけはキレイだもんね。

奈津子 いい？

ちゃんと将来のことを考えて今から備えるのよ。

じゃないと、私みたいになっちゃうからね。

そう、私みたいに……、（なぜか笑う）

真理子 はい、帰るよ姉ちゃん。

奈津子は真理子に連れて帰られながらも話す。

奈津子 いい、結芽子？

一番重要なのはね、その企業に対する誠実さをアピールすることなのよ……！！

奈津子と真理子は去る。

結芽子 将来か。

将来……。

そうだ、あたしの将来の夢！

歓声がきこえてくる。

【シーン3】

バンドの音楽（アイドル風）。

女2・女3・女4（軽音楽サークルの学生たち）が楽器を持つてるような感じで歌う。

結芽子はカワイイ振り付け。

女2 結芽子の入った大学

地元でトップの大学

女3 新入生たちさあ来る

軽音楽サークル

女4 YOU YOU 結芽子は学力優秀

充実キャンパスライフ！

女2 ♪まことは高3のとき 美術に目覚め

そのまま美術大学に 行きました

結芽子 ♪私の夢は今も 昔も変わらない

人気アイドルになって女優デビュー

イケメン俳優と 結婚

イケメン俳優と 結婚

曲終わる。

学生たちは盛り上がりながら去っていく。

へラ子、ナル吉、ケン太郎が現れている。

ヘラ子は雑誌をめくっている。

ヘラ子 危なかったわねえ結芽子ちゃん。

どこもかしこも20歳までなのね芸能事務所って。

ナル吉 まあ結芽子の実力をもってすれば楽勝ですよ。

とにかく応募用紙を書きまくったみたいですからね。

ケン太郎 いくつ合格通知が届くか楽しみですよ。

女1（郵便屋）がやってくる。

郵便屋 ピンポーン。郵便です。

郵便屋は封筒を置いていく。

真理子がやってくる。

真理子 はい。

結芽子が走って出てくる。

結芽子（慌てて封筒を奪う）ちよつと見ないで。

真理子は去る。

封筒を開ける結芽子。

そこには「不合格」の文字。

結芽子、紙の裏や封筒の中を確認するが、やはり「不合格」。

結芽子 ま、ま、こここの事務所はそもそもタイプ違ったし。
郵便屋 ピンポーン、郵便です。

郵便屋は封筒をたくさん置いていく。

封筒を開けていく結芽子。

全て「不合格」。

結芽子（少しニヤニヤしながら）え？

結芽子は繰り返し確認するが、やはり全て「不合格」。

「合格」の通知は本当に一通も無いようだ。

ヘラ子 う、ウソよ！

そんなはずないわよ！

と、ヘラ子とナル吉も確認するが、やはり「合格」の文字は見当たらず。

ヘラ子 なによ！ 実際に会いもしないで、

紙切れ一枚で不合格ってどういうことよ！

ナル吉 許せませんね。

実際に面接すれば結芽子の良さがわかってもらえるはず
なのに。

ケン太郎 んんだ！

結芽子 あはははは、

あははははー！

ヘラ子 ……な、なによ急に笑って。

結芽子 わかっちゃったよ私。

なぜ書類審査で落ちるのかね！

奈津子がやってくる。

奈津子 ねえ結芽子、いい加減やめてくれないその独り言。

4年目の就活なの、私！

結芽子 奈津子ねえちゃん、

ききたいことがあるんだけど？

奈津子 な、なによ急に気持ち悪い。

結芽子 あたしく、オーディションの応募用紙書いてるんだけど

、なんか書き方間違ってるみたいなんだよね。

どこが間違ってるか教えてくれな〜い？

奈津子 は？ なんで私が？

結芽子 だって〜、お姉ちゃんこういうのプロでしょ〜？

プ・ロ。

奈津子 ま、まあね、エントリーシートはプロ級よ。

もう3年以上書いてるんだから。

私の添削したエントリーシートで軽く30人は内定まで

導いてるわ。

結芽子 すごい、私のも添削して〜。

なんなら代わりに書いてほしいな〜。

姉ちゃん、字きれいだし。

まあ、添削くらいならしてやるわよ。

奈津子

うわっ、きつたない字、

字は人の心を表すのよ。

面接官はそういうところも見逃さない。

そして最も重要なのは、その企業に対する誠実さを……、

え、なにこれ？

芸能事務所のオーディション？

結芽子 うん。

奈津子 (ニヤニヤして) ふくん、そう。(書類を見る)

ま、ざつと見た感じ、初心者レベルね。

全然誠実さがアピールできてないわ。

結芽子 え〜そうかな〜？

奈津子 ま、一番の原因はそこじゃないでしょうけど。

結芽子 え、なに？

奈津子 顔でしょ。

間。

間。

奈津子、急にのたうち回りながら笑いまくる。

奈津子 ア、アーハッ！ アーハッ！

ホウ！ ヒヤー！ キヤッヒヤヒヤー！

サイコー、あんたサイコー！

ウアアアアア、アッハ、アッハ、

ヒヤー〜ッハアア〜！

……。

結芽子 ……。

奈津子 あんた正気？

……。

……。

……。

あんたが芸能人になりたいって言うのはね、
私が大手の企業に就職したいって言うてるようなものよ。
まだ宝くじで1億円あたる確率のほうが高いわ。
ふふふ、ありがとね結芽子。
久々に心の底から笑ったわ私。
ふふふ……、ふふふ……、ふふふふ……。

と言いながら奈津子は去っていく。

ヘラ子 なによあいつ、感じワル。

今年も就活失敗しなさいよ！

結芽子 ナル吉！

ナル吉 はいっ。

結芽子 鏡！

ナル吉 はいっ。

ナル吉が鏡を持ってくる。

結芽子は自分の顔を見る。

結芽子 あはは、なに言ってるん奈津子姉ちゃん、

全然カワイイじゃーん。

結芽子はナル吉たちを見る。

結芽子 (不安げに) ……カワイイよね？

ナル吉 カワイイですよ！

ヘラ子 こんなカワイイ子見たことない。

ケン太郎 んだんだ！

結芽子 そりゃそうだよ。

だって小中高、超モテモテだったし！

モテて仕方なかったし！

また鏡を見る。

結芽子 ……超カワイくはないかもしれないけど、

ブスではないじゃん……。

結芽子、雑誌を持ってくる。

結芽子 ナル吉！

ナル吉 はいっ。

結芽子 雑誌のこの女と私、どっちがカワイイ？

女4 (雑誌のモデル) が出てくる。

カワイさを作りすぎて痛々しい。

モデル 「さあ、あなたも芸能人になろうっ。

私たちは、才能あるあなたのご応募お待ちしております

っ！」

結芽子 (カワイさを作って) ねえ、どっちがカワイイ？
ナル吉 そりゃあもちろん、

と言ったものの即答できず、モデルと結芽子を並ばせる。
ナル吉、けっこう悩む。

ナル吉 もちろん結芽子ちゃんだよ！

結芽子 そうでしょう？

おかしいじゃん。

こんなブスでも芸能事務所入れんのに、
こんなのより私の方がいいに決まってんじゃん。

結芽子、モデルを見る。

結芽子 もう一回鏡！

ナル吉 はい！

ナル吉、鏡を差し出す。

鏡越しに、女2（結芽子の姿）が現れる。

かなりブス顔。

鏡の結芽子とモデルを見比べる結芽子。

結芽子 ほら、私のほうがカワイイじゃん。

私のほうが、

と言いながら、結芽子はだんだん自信がなくなってくる。

結芽子 私のほうがカワイイよね……？

ヘラ子 もちろんよ、結芽子ちゃんはカワイイ！

ナル吉 カワイイ！

ケン太郎 カワイイ！

結芽子、自分の顔を見てなんだか気持ち悪くなる。

結芽子 あ、あれ、なんか自分の顔見すぎて気持ち悪くなってきた。

人間ってこんな顔してたっけ……？

鏡の結芽子、結芽子に迫ってきている。

結芽子 うああ、自分の顔が迫ってくる……、

（少し追いかけられる）やめて、やめて、

ヘラ子 大丈夫よ結芽子！ あなたはカワイイ！

ナル吉 カワイイ！

ケン太郎 カワイイ！

結芽子 （まだ追いかけている）知ってる、知ってる、

結芽子、追いかけてだんだん記憶の中に迷い込んでいく。

小さく囁き音がきこえてくる。

結芽子の軽音楽サークルの女友達・女1（ゆるふわ系）と女3（クール系）
が現れる。

モデルと鏡の結芽子は去っている。

ゆる あ、ユメちゃんお疲れ〜。

クール お疲れー。

ゆる え、バンドの練習？ 今から？

ごめくん、これから彼氏とデートなんだあ〜。

クール ごめん、あたしも彼氏と約束あつて。

ゆる ん、ああ、どうかな？

あのコたちもデートだつて言つてた気がするなあ〜。

クール てかユメちゃんは彼氏作んないの？

ああ、そういう主義じゃないんだ。

記憶がぐるぐるしてくる。

ゆる え、今から？

ごめくん、これから彼氏とデートなんだあ〜。

クール ごめん、あたしも彼氏と約束あつて。

てかユメちゃんは彼氏作んないの？

ゆる え、今から？

ごめくん、これから彼氏とデートなんだあ〜。

クール ごめん、てかユメちゃんは彼氏作んないの？

ゆる これから彼氏とデートなんだあ〜。

クール てかユメちゃんは彼氏作んないの？

ゆる これから彼氏とデートなんだあ〜。

結芽子から離れたところにヘラ子、ナル吉、ケン太郎がひとりずつ立っている。

結芽子 なんで私、彼氏いないの……？

ナル吉 だつて必要ないだろう？

ヘラ子 そうよ、あなたはアイドルになるんだから。

ケン太郎 女優デビューすれば、

イケメン俳優と付き合えるです。

結芽子 ……イケメン俳優じゃなくていい。

ヘラ子 でもアイドルは恋愛禁止よ。

結芽子 まだアイドルじゃないから。

ナル吉 じゃあ簡単なことだよ。

結芽子 え？

ケン太郎 告白すればいいです。

そうすれば男と付き合える。

結芽子 ……。

ヘラ子 みんなそうやって彼氏を作っているのよ。

ナル吉 やつてごらん。

ケン太郎 んだんだ。

三人は去る。

ゆるふわ系とクール系は去っている。

男のお面をした女3（軽音楽サークルの男子A）が現れる。

結芽子 ねえ、お前彼女いんの？

男子A え、いないよー。

結芽子 じゃあ私が付き合つてあげよつか？

男子A え、うーん……、結芽子とは、ないなあ……。

結芽子 え……？

男のお面をした女4（男子B）が現れる。

結芽子 ねえ、お前彼女いんの？

男子B え、いないよー。

結芽子 じゃあ私が付き合っただけよっか？

男子B え、うーん……、結芽子とは、ないなあ……。

結芽子 え……？

男のお面をした女2（男子C）が現れる。

結芽子 ねえ、付き合ってくれない？

男子C 結芽子とはないなあ……。

結芽子 ……え、ねえ、

……ひとつきいていい？

男子A・B・C なに？

結芽子 私、……カワイイかブスカで言ったらどっち？

男子A・B・C うーん……、ブ……、

男子たち、逃げるように去る。

結芽子、立ち尽くす。

しばらくして、ケン太郎が現れる。

ケン太郎 仕方ねえです。

結芽子 ……。

ケン太郎 そろそろ本気出すしかねえです。

結芽子ちゃん。

結芽子 ……？

ケン太郎 だって、結芽子ちゃん、まだ本気出してねえでしょう？

ヤツらは本気を出してあの程度です。

そろそろ結芽子ちゃんも本気出して、

見せつけてやりましょうや。

ケン太郎、結芽子の前に刀を置く。

結芽子、刀を手取る。

結芽子 ……本気、出しちゃうよ？

結芽子、刀を抜く。

ケン太郎は去る。

和の音楽。

時代劇風の人々（男1・男2・女2・女3・女4）が現れる。

女2 瀧川結芽子はあることを決意した。

女3 瀧川結芽子はアイドルから夢を変更した。

女4 瀧川結芽子は男を落とす方法をとにかく勉強し、

男2 そして、すぐに実践した。

男1 そう、瀧川結芽子の夢、それは、

5人 男！ 百人斬り！

男は次々にやってきて、結芽子に斬られていく。
みんないろんな男の仮面をつけている。

女2 「その一、とにかく褒めるべし！」

結芽子 ズバツシユ！

男2 ああん！

女3 「その二、目を合わせて微笑みかけるべし！」

結芽子 ズバツ！

男1 ああん！

女4 「その三、隙を見せるべし！」

結芽子 ズバツ！

女2 ああん！

と、男たちは絶頂しながら倒れていく。

結芽子は走っていき襖をあける。

そこに男3（代官）と女1（姫）がいる。

代官 よいではないか、よいではないか。

姫 お、おやめくださいお代官様あ。

（結芽子に気づく）あ、あなたは！

代官 なにやつ？

結芽子 絶頂ザムライ。

代官 曲者め、ええい、であえい、であえい！

男1、女2、女3、女4、結芽子を囲う。

結芽子が刀を抜くとストップモーション。

全員がストップしている中、結芽子は素早く次々に斬っていく。
結芽子が刀を取めると、全員絶頂して死ぬ。

一同 ああん！

代官 は、話し合おう、なにが望みだ？ 金か？ 地位か？

結芽子 陰茎だ。

代官 え？

結芽子 ズバア！

代官 ああん！

代官、絶頂して死ぬ。

姫 ありがとうございます、絶頂ザムライ！

結芽子 ズバア！

姫 ああん！

姫、絶頂して死ぬ。

結芽子 これで九十九人……。

お面をしている男2が現れ、通り過ぎようとする。

結芽子 待たれよ。

記念すべき百人目は貴様だ。

男2がお面をはずすと、りょう。

りよう ユメコちゃん？

結芽子 え？

りよう 俺、りよう、藤井りよう、

小学校るとき同じクラスだったじゃん。

結芽子 うそ……？

いい雰囲気音楽。

そこはバー。

女3(客)と男1(マスター)がいる。

客 マスターあ、マスターあ、

マスター はいはい、まずは落ち着いてください。

客 うわあーん、マスター……、

マスター どうどう、どうどう、

りよう なんか雰囲気変わったよねユメコちゃん。

結芽子 え、本当？

りよう ホントホント、

なんか女つぼくなつた。(結芽子を触る)

結芽子 え、なにそれどういう意味？

りよう いやいや褒めてんだよ。

結芽子 だってそれ小学校の時は女つぼくなかつたってことでし

よ？

客 マスターあ、

マスター どうしました。

客 わたしい、この前久々に小学校のときの初恋の人に会ったの

お、

マスター ええ。

客 でえ、その人と飲んだんだけどお、

小学校の時はもつとかっこよくてえ、

純粹だったはずなのに、

今日の前にいるやつは、

ただの下心丸出しのオス？みたいな感じでえ、

やべえこいつ偽物だ、てえ、

だってえ、この人があの人なわけないってえ、

う、う、(泣き出す)

マスター 落ち着いてください、お客さん。

客 うわあーん、

結芽子 ねえ、(小声で)したくなつちやつた。

りよう 出よつか。

歩いていく二人。

結芽子立ち止まる。

結芽子 ……偽物は殺す。

りよう え？

振り返る結芽子。

結芽子 しねえ！(りようを斬る)

結芽子は背を向けゆっくりと刀を鞘に収める。

少しして、

りょう ああん！（絶頂して倒れる）

振り返り倒れているりょうを見ている結芽子。

泣くと思いきや笑いがこみ上げてくる。

結芽子 ……く、く、く、く、く、

うおおい！

結芽子、ちよつと小躍りする。

りょうは男3に運ばれて去っていく。

結芽子 誰だあ？ あたしのことブスだって言ったやつ？

うん？

おめーら何人とやったことあんだ？

5人？ 10人？

あたし100にーん！

ブスウー、お前ら全員ブスウー！

私がいちばん！

私が一番カワイイー！

うわあーい！！

と笑いながら倒れるように寝転がる。

沈黙。

かなり長い間、何も喋らず寝転がっている。

しばらくして、立ち上がり去っていく。

女3（店員）と、男3と女4がやってくる。

男3・女4 ホ・ホ・ホ・ホームセンター

ササ・キ！

店員 ありがとうございますー。

結芽子は3メートルほどの長さのロープが入った袋を持って現れる。うつろな感じで歩いている。

少しして、たけるがやってくる。

たける あれ、結芽子ちゃん。

結芽子 たける先輩……、

たける 偶然だね、元気？

結芽子 まあまあです……。

たける先輩は？

たける うん、俺もまあまあ。

今は演劇やってんの？

結芽子 あ、いえ、今はもう、

たける（袋を見て）買い物？

結芽子 え、あ、

たける ロープ？ 何に使うの？

結芽子 あ、綱引き？

たける 綱引き？

結芽子 そう、今度綱引き大会があつて、

たける へーそうなんだ。

結芽子 あの、今時間あります？

たける ん、あるよ？

結芽子 よかつたら、飲みにも行きませんか？

たける おう、いいね。

結芽子 ありがとうございます。

居酒屋。

客の男2と女2がいる。

男2は自分をイケメンだと思っているブサイクで、女2は自分をカワイイと思つているブス。二人とも酔つ払い。

男・女 かんぱうい！

男 つてまゆゆ、何回乾杯させんだよ。

女 えくたつくんはまゆゆのこと嫌いななの？

男 大好きだよ、チュッチュッ。

女 マジい、まゆゆ、たつくんいないと生きてけなひい。

男 うへへ、そんなまゆゆこそ俺にとつてのエンジェルだぜ。

女 ちよつとお花摘んでくる。

男 あ、俺も便所。

男と女は去る。

たけると結芽子は酒を飲んでる。

たける (その二人を見ていて) 俺たち、あんな風に見られてないよな。

結芽子 え、大丈夫ですよ。

たける ならいんだけど……。

でも本当、結芽子ちゃんと酒飲むようになるとはなあ。

結芽子 いや、ホントですよええ。

たける 演劇部のほかのやつら元気にしてるかなあ。

まことちゃん、元気？

結芽子 え、まことですか？

どうでしょう、最近会つてないんです。

たける そうなんだ。まことちゃん美大行ったんだ

ろ？ すごいよな。

結芽子 あーまあそうですね。

たける まことの描いてる絵、一回見てみたくない？

結芽子 ちよつとたける先輩、まことの話ばかりしないでくだ

さいよ。

結芽子の話して。

たける ああうん。

でも、本当結芽子ちゃん感じ変わったよね。

結芽子 え、ホントですか嬉しく。

トイレの方から男と女の激しい喘ぎ声が聞こえてくる。

ちよつと気まづく二人。

結芽子 たける先輩もかっこよくなりましたよね。

たける ああ本当？

結芽子 はい。(暑そうにする)

なんかあつつくないですか？

たける そう？

ちようどいいくらいだと思っけどな。

結芽子 ホントですか？(たけるの手を触る)

あ、たける先輩の手冷たい。(たけるの手を額につける)

たける ん、ああ、

結芽子 酔ってんのかなあ？

たける 早いでしょ。

結芽子 あたしお酒弱いんです。

たける じゃあこんなに飲んじゃダメでしょ。

結芽子 なんか盛り上がっちゃって。

たける 大丈夫？

結芽子 大丈夫です。(たけるにもたれかかる)

たける 大丈夫じゃないよ。

結芽子 大丈夫じゃないですか？(手を握る)

たける おいしっかりしろ。

結芽子 せんばい、

たける なに、

結芽子 (小声で) あたし、せんばいと、したい。

たける、結芽子を離す。

ゴミを見るような目で結芽子を見つめている。

たける ……え、あのさあ、

結芽子 うん？

たける ……なにそれ？

結芽子 なにって？

たける 帰る。

結芽子 え、なんで？

たける 金は払っとくから。

結芽子 え、なんでなんで？

たける 俺、昔の結芽子に会いたかったな。

昔の結芽子、好きだったから。

お前、ホントは結芽子じゃないんだろ？

偽物なんだろ、お前。

結芽子 なに？ なに怒ってんの？

たける お前、男とエッチしたいだけなんだろ？

結芽子 え、違います。

私、たける先輩のこと好きなんです。

たける はいはい。

またトイレから喘ぎ声が聞こえてきている。

たける、その喘ぎ声に対して舌打ち。

結芽子 違うんです、本当に、高校の時から、

たける先輩のこと好きで、

私、生まれてはじめてヒトのために尽くしたいって、

自分の人生この人のために捧げたいって、

たける 言っとくけど、

今のお前、最低だよ。

たける、帰る。

トイレから男女が絶頂したらしい声。

結芽子、しばらく沈黙。

へラ子、ケン太郎が静かに現れる。

ケン太郎は、ロープを結芽子のもとに投げる。

崩れ落ちる。ロープを見つめる。

ロープを自分の首にかける。

結芽子 う、うう、

死にたくない……、

し、死にたくない……、

へラ子 じゃあ生きなさい。

結芽子 やだあ……、

これ以上生きてたくない……、

ケン太郎 ワガママだな、結芽子ちゃんは。

結芽子 ナル吉は？

ケン太郎 ナル吉は……、

へラ子 死んだわよ、ナル吉は。

結芽子 ええ……？

へラ子 死んだのよ。死んだ。

結芽子 なんで……？

へラ子 水に落ちて溺れ死んだの。

結芽子 ちゃんは？

結芽子、ベランダの扉を開ける。

結芽子 ……死んでやる。

ケン太郎 結芽子ちゃん、

結芽子 うるさい、

ベランダから飛び降りてやる！

へラ子 待ちなさい結芽子ちゃん、

結芽子 ……はあああ！

結芽子、飛び降りる。倒れて動かない。

少しして、

結芽子 痛い、足ひねった……！！

へラ子 死ぬるわけじゃないじゃない、

2階から飛び降りたって、

結芽子 いやだあ……。

もう生きてたくない……、

でも死にたくない……、

へラ子 それは矛盾よ。

ケン太郎 結芽子ちゃん、

死にたくもないし生きてたくもないなら、

第二の道を選ぶです。

結芽子 (ケン太郎の方に振り向き) 第三の道……？

ケン太郎 そう、第三の道です。

へラ子とケン太郎は去る。

りょうがやってくる。

りょう いやあ嬉しいなあ、

結芽子が俺と付き合ってくれるなんて。

結芽子 うん、だって、私りょうのこと好きだもん。
りょう そつかそつか嬉しいなあ。

ところでそろそろ就活じゃん？

結芽子 どうすんの？

結芽子 フツーに就職するよ。

別のところから奈津子が浮かび上がってくる。

うしろから光が差して逆光になっている。

次第に奈津子が見えるようになってくる。

奈津子 ふふふ、甘いわよあんた。

フツーに就職とか言ってるけど、

就活はそんなに甘くないんだからね。

いい？

大事なものは、その企業に対する誠実さを、

女1 (郵便屋) がやってくる。

郵便屋 郵便です。

結芽子は封筒を10通受け取る。

郵便屋は去る。

真理子が現れる。

真理子 なに、またアイドル？

結芽子、封筒を投げおく。

結芽子 ない・てい！

奈津子 ああ、ああ、あああ、

奈津子、腰を抜かしおののいている。

真理子 ちよつと、行くよ姉ちゃん、

アレルギーが、就活アレルギーが、

奈津子 ああああ、

真理子、奈津子連れて行く。

結芽子 ほーらね、

りょう 本気出せばなんでもできんだよ、あたしは、
うわーすっげえなー結芽子。

どこにすんの？

結芽子 ど・ち・ら・に・し・よ・う・か・な

か・み・さ・ま・の・い・う・と・お・り
てっ・ぽう・うっ・て・バン・バン・バン

(封筒を二通もって)これ。

りょう いいの、そんなテキストで？

結芽子 いいよ。

結芽子はほかの封筒をまとめて捨てる。

ケン太郎が現れている。

ケン太郎 第三の道、そう、

死んだように生きればいいですよ！

音楽。

女たち、ゾンビのようなダンス。

結芽子の顔に笑顔のはりついたお面がつけられる。

【シーン4】

音楽。

男3（上司）と、女3・女4（社員たち）のいるオフィス。

女3 もしもし？

女4 もしもし？

女3 はい、瀧川結芽子は26歳になりました。

女4 恋人もいて仕事も順調、理想の人生です。

社員二人は電話を切る。

上司のもとに資料を持っていく結芽子。

上司 もう資料まとめてくれたのか。さすがは瀧川だな。

女3（女4に）すごいよねえ結芽子ちゃん。

女4 仕事もできるし彼氏想いだし、尊敬するわ。

女1・女2も現れる。

男1（ホスト）がやってくる。

ホスト ナンバーワンホストのセイヤです。

ご指名ありがとうございます結芽子ちゃん。

彼氏いるのにこんなところ来ちゃっていいの？

結芽子、構わない、という感じで手を振る。
ホストの耳元で何か言う。

ホスト おうおう、本当に？

いつちやういつちやう？

結芽子 (いけいけ、という身振り。)

ホスト ありがとうございます！

ドンペリ入りまあす！

一同 ふううー！

結芽子は運ばれてきたドンペリの瓶を奪い、一気に全部飲んでしまう。

一同 ふううー！

人々は去っていく。

りようの家。

りようが現れる。

結芽子 (吐いている) おえええ、うえ、おえええ、

りよう おかえり結芽子、また飲んできたの？

結芽子、大丈夫、という風に手を振る。

りよう 会社の付き合いとかいろいろあると思うけ

ど、あんまり無理しちゃダメだよ。

結芽子が無理したら、

俺悲しくなっちゃうよ。

結芽子 (大丈夫、という手振り。)

りよう ねえ結芽子、

お互い仕事も落ち着いてきたとこだと思っただけど、
そろそろ、結婚とか考えてもいい歳なんじゃないかな？

結芽子 (まだ早いよ、という手振り。)

りよう 俺は結芽子と結婚してもいいと思ってるよ。

だって俺、結芽子のこと好きだし。

結芽子 (うーん、という態度。)

りよう まあ、結婚しようよ、結芽子。

結芽子がゆっくり上を向くと、教会の鐘の音が聴こえてくる。

結婚式の音楽。

りようは結芽子をひっぱって去っていく。

男1 (神父) と真理子、やすし、奈津子、人々 (女1・女4) が現れてい
る。

神父 あなたたちは、

一生愛し合うことを誓いますか。

真理子 誓います。

やすし 誓います。

人々拍手。

結芽子は離れたところでひとり酒を飲んでいる。

他の人々は食事や会話を楽しんでいる。

真理子がやってくる。

真理子 あ、どこ行ったかと思つたら。

結芽子 (どうも、という手振り。)

真理子 お母さん泣いてたね。

やっぱ感動しちゃうもんなのかな？

自分の子供の結婚式って。

結芽子 (さあ、という身振り。)

真理子 でもあんたも今の彼氏とうまくやってくんでしょ。

あんま家帰ってこないし、もう半同棲みたいな感じ？

結芽子 (どうかな、という身振り。)

真理子 私あの人脅したの。

私もそろそろいい歳なんだから別れるか結婚するか選んでって。

そしたら結婚するって。

……そんな感じの結婚だけども、

私、今すつごく幸せだよ。

きつとこれからは、

もつと幸せになると思う。

っていうか、幸せにしてくんだけどね。

(お腹を触って) ……実はね、赤ちゃんいるの。

まだみんなには内緒よ。

(黙っている。)

結芽子

真理子 結芽子もとつと、幸せ手に入れるよ。

(酒を飲む)

奈津子がやってくる。酒を持っている。

奈津子 あら、なに姉妹そろって。

私に聞かれたくない話でもしてたの？

真理子 全然。

奈津子 真理子、

あんた浮かれちゃってるみたいだけどね、

結婚なんてのは所詮契約なのよ。

お互いを不自由にする契約。

そして男は不倫に走るの、自由を求めてね。

そしたら離婚よあなたたち。

ふふふ、いい気味だわ。

ねえ、結芽子？

あんたは結婚なんて愚かな選択はしないことね。

結婚なんて窮屈なだけだから。

私はそう思つて敢えてその道を選ばなかったの。

敢えて、そう、敢えてね。

楽しみだわ、あんたたちの離婚調停。

ふふふ、せいぜいそれまで楽しみなさい。

奈津子は去っていく。

真理子 姉ちゃん、3年付き合つてた彼氏にふられ

たの、つい一週間前くらい。

それでもうひがんじやってひがんじやって。

結芽子 (黙っている)

真理子 ま、あんたもそろそろ今の彼氏とどうするか決めといった方がいいかもよ。

先延ばしにしてたら女は年とる一方だからね。がんばれ。

やすしがスピーチをはじめ。結芽子の妄想。

やすし (マイクの確認) あ、あ、

えーどうも、

真理子さんと結婚しました、やすしです。

それでは、僕からご挨拶をいたします。

一同 拍手。

やすし 真理子は、仕事もまあまあできるし結婚もして一見幸せそうですが、

妹の結芽子さんは真理子をかわいそうに思っています。

きっと本当は自分と同じように死にながら生きています。からです。

一生懸命人生を楽しんでいるふりをして、ただ死ぬことから生きてくことからも目を背けているだけなんです。

いや、きっと地球の全ての人類が、一生懸命楽しんでるフリをして、

死ぬことから生きてくことからも逃げています。

そのことに気づいた結芽子さんを、

みなさん励ましてあげてください。

みんな結芽子に拍手しながら「がんばれ、がんばれ」と声をかけながら去っていく。

結芽子は「やめろやめろ!」という素振り。

やすし ここ5年間「死」という文字が頭をよぎる結芽子さんはよ

く橋の上に行って、

川を眺めながら、

ここから落ちたら死ぬんだろうかということ、

ぼんやりと考えているのです。

やすしは去る。

川の流れる音がきこえている。

少しして、まことがやってくる。

まこと あれ、ユメちゃん?

結芽子 (振り向く)

まこと ユメちゃんだよ?

結芽子 (まことを見ている)

まこと わーユメちゃんだ、久しぶり。

結芽子 (うん、という身振り。)

まこと えー何年ぶり? 8年ぶり?

結芽子 (かな? という身振り。)

まこと そつかそつか。

ユメちゃん今なにやってんの？

へーそうなんだ、

相変わらずすごいなーユメちゃんは、

なんでもできて、恋人もいて。

え、ボク？

いないよ。ずっとひとり。

相変わらず絵描いてるよ、

抽象画描いてて、ちよっとした賞なんかもらったりしてるけど全然ダメ。

普通の人からしたら、いったい何描いてんだかわかんないみたいだしね。

あ、そうだ。

よかつたらきてよ、グループ展やってるんだ。(チラシを渡す)

え、今から？

うん、大丈夫だけど。

結芽子とまことは歩いていく。

ギャラリィ。

まことは小声。

まこと ユメちゃん、こういうところって初めて？

結芽子 (うなずく)

まこと そつかそつか。

なんかよくわかんないでしょ、こういう絵って。

結芽子 (黙っている)

まこと あ、これがボクの絵。抽象画。

音楽。

まこと 今回の結構評判いいんだ。

なんか、ずっと見ると音がきこえてくるんだって。

結芽子 (絵を見ている)

まこと つて、こういう絵が好きなのが言ってたんだけどね。普通の人には、なんなのかわかんないっていう感じ。

結芽子 (ずっと絵を見ている)

まこと ごめん、こんなの見てもよくわかんないよね。

行こっか。

まことは行こうとするが、結芽子はずっと絵を見ている。

まこと あ、もしかして気に入ってくれた？

結芽子 (うつつむく)

まこと ん、なに？

え、ああうん、一応売ってるけど。

結芽子 (財布を取り出してたくさんお札を出してまことに渡す)

まこと え、受け取れないよこんなに。

結芽子 (無理やり渡す)

まこと え、困るよお。

結芽子 (うづくまる)

まこと ちよっと、ユメちゃん。

結芽子 (なにか喋っているようだ)

まこと え、なに？

ああー、どうだろう？

考えたこともないなそんなこと。

でも、決まった意味なんてないんじゃないかな。

ボクの絵だって、ほとんどの人にとってはなんの意味もないものだけど、

ボクにとってはとつても意味のあるものだし。

自分にとつて意味があるって思えることをやればいいんだよ。

そう考えると単純なんじゃないかな。

きつと。

まことは結芽子のお面を外してあげる。

結芽子は笑っていたお面とは裏腹に、笑顔のない、追い詰められたような、不安げな、耐え切れないような、そんなひどい顔をしている。

まこと ね、そう思わない？

結芽子 ……。(まことを見ている)

まこと やつとあの頃のユメちゃんの顔に戻った気がする。

まこと、結芽子に微笑みかけている。

結芽子も、笑ってみる。

ケン太郎が現れる。

まことは去っていく。

ケン太郎 どうしたんです？ 結芽子ちゃん。

ケン太郎、刀を置く。

ケン太郎 さあ、今日も切りまくっていくです。

結芽子、刀を抜いて、ケン太郎にむかう。

ケン太郎 え？

結芽子、ケン太郎を切る。

ケン太郎 ぐもおおお！

ケン太郎、死にながら去る。

奈津子が現れる。

奈津子 あんた最近ずっと家にいるわね。

なに、彼氏と別れたの？

結芽子 別れたよ。

奈津子 ……ぶつ、……く、く、く、

やっぱり人生つてうまくいかないものね。

それでいいのよ。

あんたは人生うまく行き過ぎてたんだから。

結芽子、奈津子を見無視してギターをいじっている。

奈津子 なにあんた、また軽音？

結芽子 まあね。

奈津子 ふん、男の代わりに音楽に走るのねあんたは。

音楽なんかで心の隙間が埋まるかしら。

結局あんたも酒とタバコとパチンコとホストクラブで埋

めることになるのよ、私のようにね。

私は節度を持って楽しんでるけれど、

あなたはどっぶり浸かりそうね。

ふふふ。

奈津子は去っていく。

そこは路上。

結芽子、演奏する。

結芽子 死にたいってわめき立てたり

ベランダから飛び降りてたり

自分のこと好きじゃないから

うそばかりついた

だから

泣きたいときには泣いて

笑いたいときには笑って

今の自分も

昔の自分も

好きになりたいな

結芽子が歌い終わると、そこにたけるが立っている。

結芽子 たける先輩……。

たける 久しぶり、結芽子ちゃん。

たけるは微笑んでいる。

結芽子、微笑む。

暗転。

【シーン5】

やや楽しい音楽。

暗闇の中、男3（ニュースキャスター）が浮かび上がる。

キャスター 続いているニュースです。

我らが瀧川結芽子が、

今日で32歳になりました。

結芽子は5年前に大田たけるといふ男と結婚し子供を産みました。

そして、家族3人で幸せな5年間を送ったのでした。テレビの前のみなさんも、

今の不幸に落ち込んではいけません。

だってそれは、将来の幸せを引き立たせるスパイスなのですから。

ありがとうございます、瀧川結芽子。

それでは次のニュースです。

明けると、結芽子と結芽子の娘・ゆきがいる。

キャスターはなにか喋っているが音声はなし。

ゆきは何の気なしにテレビを見ている。

幸せで安定した家庭の生活。

ゆき お母さんお腹空いたー。

結芽子 さつき食べたでしょう？

ゆき お父さんの分も食べていい？

結芽子 ダメ。

毎日お仕事で夜遅くまで働いてんだから、帰ってきてご飯なかったらかわいそうでしょう？

ゆき ブー！

ゆきはもうテレビでなく、なにか本を読んでいる。

結芽子 あら、ゆきはなんのマンガ読んでいるの？

ゆき ギリシャ神話。

結芽子 偉い、さすが私の子供ね。

ゆき ねえこの人なに？

結芽子 これはヘーラーっていう女神さま。

嫉妬深くて旦那に寄ってくる女に呪いをかけたりしちゃうの。

ゆき これは？

結芽子 これはナルキッソスっていううぬぼれ屋。

泉に映った自分の姿に見とれて、そのまま水に落ちて死んじゃうの。

ゆき この馬みたいな人は？

結芽子 これはケンタウロスっていうって、女の人大好きなの。

ゆき へー、おもしろーい。

ニュースの音がきこえてくる。

キャスター 続いているニュースです。

電車の中で女子高生2名に対し痴漢をした容疑で起訴された会社員の男性に、無罪が言い渡されました。警察は、被害にあったという女子高生の証言が曖昧なことから、女子高生二人が痴漢の被害を受けたことを装っていた可能性もあるとして、女子高生二人からさらに事情を聴くことにする模様です。

結芽子 わー、こわいね。

ゆき どういう意味？

結芽子 何も悪いことしてないのに、

警察に捕まっちゃうことがあるかもしれないの。

ゆき ひでー。

結芽子 それなのに周りから悪口言われたり、

会社をクビになっちゃったりするの。

ゆき さいあくー。

死ねばいいのに。

電話の音。

結芽子 はいはいー、

電話に出る。

結芽子 はいもしもし大田です。

ゆきは本に書かれている絵と文字をみながら、たどたどしく読んでいる。
ゆきと結芽子に明かり。

結芽子 はい、太田たけるの妻ですが……、

ゆき ……でんしゃ。

……じよしこーせい。

……けーさつ。

……なんだ？ うーん……、

……とりしらべ？

結芽子、電話を切る。

ゆき なーに？

結芽子 ごめん、ちよっとお母さん出かけてくるから、

ひとりで寝てなさいね。

ゆき えー？

結芽子 ごめんね。

ゆき ブー！

結芽子 是出て行く。

ゆきも去る。

電車が通過していく音。

電車の発する強い明かりが一瞬舞台上を駆け抜ける。

夜の公園。

女1（女子学生）と男3（男子学生）が歩いてくる。

どっちもブス。

女子 ねえ、ゆきひこー、

私と付き合ってよー？

男子 ムリムリ。

女子 えーなんで？

男子 だってお前ブスじゃん。

女子 えーなにそれヒドーイ。

と言いながらふたりは去っていく。

コートを着た結芽子とたけるがやってきている。

結芽子 座ろっか、家帰ったらゆきいるし。

たける うん……。

ベンチに腰掛ける二人。

※無料版はここまでです。ご覧くださりありがとうございます

た。全編はクラアク芸術堂の販売ページ（左のURL）から購入できます。ありがとうございます。

<http://www.clark-artcompany.com/public>

あとがき

ある演出家が、「だいたいの芝居は、『人生はなかなかうまくいかない』ということを書いてあるんだ。」というようにことを言っていたのをずっと覚えています。人生がほとんどトントン拍子なんて人はほとんどいなくて、だいたいの人がどこかで壁にあたり、乗り越えるのを諦めたり、開き直ったり、乗り越えてもまた次の壁にぶつかったり、ということをしつと死ぬまで繰り返していくんだらうと思うのです。その壁というのは、親だったり、兄弟姉妹だったり、子供だったり、仕事だったり、恋愛だったり、自分の容姿だったり、自分の能力の低さだったり、病気だったり、老いだったり、様々です。結芽子にはたくさんの壁を用意しました。そんな結芽子の人生は、「ものすごく不幸」というよりは、慢性的に不幸でした。

とはいえ状況だけ見れば、結芽子は勉強もできるし、努力すればモテるし、金持ちと結婚して子供も3人いて、どちらかといえれば勝ち組でした。真理子と比べてどうかはわかりませんが、奈津子よりはどうか考えても勝ち組でした。ですが幸せかどうかというのはそれと別問題です。自分が美人でないことに気付いた時から結芽子はあまり自己肯定ができなくなりました。それが慢性的な不幸の原因だったのかもしれない。

僕は、人生はものすごく不公平だと思っています。

人生のほとんどが不幸のまま死んでいく人もいれば、人生のほとんどが幸せのまま死んでいく人もいるし、才能を存分に發揮してから死ぬ人もいれば、特に何も成すことなく死んでいく人もいます。運は人生でプラスマイナスゼロになるようになっていく」という話もありますが、僕は信じません。ツキまくって人

生うまくいっている人もいれば、不運の連続で人生うまくいっていない人もいますからです。であるならば僕は、ツキまくって幸せなまま死んでいきたいと思っています。

2015年7月28日(水) 小佐部 明広

《上演記録》

劇団アトリエ第18回公演『瀧川結芽子』

【キャスト】

瀧川結芽子／ユメメ ——— 柴田知佳（劇団アトリエ）
玉井まこと／女1 ——— 丹野早紀
瀧川奈津子／ゆき／女2 ——— 五十川由華（おかめの三角フランス）
瀧川真理子／あみ／女3 ——— 田中温子（NEXTAGE）
瀧川比呂美／りん／女4 ——— 寺地ユイ（きまぐれポニーテール）
ヘラ子／たける／男1 ——— 小山佳祐（劇団アトリエ）
ナル吉／りょう／男2 ——— 有田哲（劇団アトリエ）
ケン太郎／やすし／男3 ——— 伊達昌俊（劇団アトリエ）

【スタッフ】

演出・脚本 小佐部明広
照明 高橋正和
音響 小佐部明広
舞台デザイン・衣装 松島みなみ
大道具 上田知
小道具 種田基希
演出助手 種田基希 ヤヨイ 竹原 亜由
宣伝美術 八十嶋悠介（TRGZ./マイペース）
制作 加納絵里香（劇団800階） 山木真綾 小林翔平
ダンス振付 柴田知佳
殺陣 有田哲

『結芽子の歌』作詞・作曲 柴田知佳

【日程】

2015年

10月30日（金） 16時／20時
10月31日（土） 14時／19時
11月 1日（日） 13時／17時

【場所】

演劇専用小劇場BLOCH

【料金】

一般前売 2000円（当日2500円）
DM会員前売 1800円（当日2300円）
25歳以下前売 1500円（当日2000円）
高校生以下前売 500円（当日1000円）
再観 1000円

※実際の上演内容と一部異なる場合があります。ご了承ください。

2015年10月28日 第1刷制作

2017年10月4日 第2刷制作

《『瀧川結芽子』の上演について》

「一般前売入場料2000円未満」または「公演予算100万円以下」の
場合は、脚本使用料は**無料**です。それ以外の場合は、協議の上、総予算の
3%程度を脚本使用料とします。上演のお問い合わせはクラアク芸術堂企画
運営委員会まで。

【クラアク芸術堂企画運営委員会】

clark.artcompany@gmail.com